

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社小林組 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、出身などによる差別は今まで致しませんし、これからもないことを確認しつけてます。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ、マタハラ、パワハラなどのハラスメントは致しません。また、社員の子育て応援宣言に登録しています。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			弊社の平均残業時間は月5時間以下であり、残業しない勤務が定着しています。						8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者 4人在籍しているが、差別、人権侵害は発生していないことを確認しているし、今後も確認しつづけます。			4.4		8.7 8.8	10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎月、社員向けの安全会議を実施し、労働環境の整備と安全衛生の周知徹底をしています。		3				8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			年1回の健康診断、保健師との面談を通して、メンタルヘルスを維持できるようにしている。		3											
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が十分に活躍できるように差別なく環境を設備しています。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			土木技士連合会の継続学習制度を活用し、従業員のスキルに合わせた教育、訓練を今後も提供していきます。			4	5.5	8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一労働同一賃金の原則に沿った賃金体系になっています。				5.5		8.5	10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	協会けんぽの「健康企業宣言」を目指します。		3				8							
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			産業廃棄物処理計画実施状況報告書を毎年提出しています。産業廃棄物収集運搬許可を取得し実績を報告しています。								11.6	12.4		14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			自社の石油使用量、電気使用量を把握しています。					7.3					13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			エコアクション21を通して、把握した使用量をもとに削減に取り組んでいます。				7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質の少ない工法を第一に検討します。有害化学物質が避けられない場合は適切なリスク管理を行います。		3.9		6.3				11.6	12.4				

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した工法、材料を使用して、悪影響を最小限にするように努めています。																	15
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			建設資材は可能な限り再生材を用いています。 裏紙の使用で紙の使用抑制しています。																12.5	14.1
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			エコアクション21を通して、水道使用量を把握し、無駄遣いをなくします。									6.4	6.6							
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			エコアクション21を取得しています。				3.9			6	7						12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			エコアクション21を通して、情報を開示しています。															12.6		
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーを使用しています。										7.2					13		
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			建設資材は可能な限り再生材を用いています。														12.2	13	14	15
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職、贈収賄を含む行動規定を整備しており、社内に周知しています。																16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しない行動規定を整備しており、社内に周知しています。																16	
公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			違法コピーのソフトウェアは使用しません。 著作権などの侵害防止にも努めています。									8.2	8.3	9						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報の管理ルールを作成し、そのルールに沿った管理をしております。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			建設資材は信頼のある県内生産企業から調達し、紛争鉱物の流入を防いでいます。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先に立場を利用した圧力をかけるような行動は致しません。対等な立場で人権侵害などはいたしません。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		「パートナーシップ構築宣言」を作成し、登録申請をしています。			3							8	9	10					

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 				
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			毎月の安全パトロールを通して、安全性を向上させています。			3.9								12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			社内基準に基づいた施工で品質の高い工事を行っています。								9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			環境に配慮した建設資材を採用するようにしています。					6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			災害復旧工事に積極的に対応しています。 防災・減災工事を通して、社会課題を解決していきます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			工事説明会などで地域の方と対話し、影響を説明し、要望に対応しております。			4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			町の各種イベントに協力しています。 消防団協力事務所として、消防団活動に協力しています。			4								11		14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			建設資材は県内企業生産のものを積極的に利用しています。								8	9		11	12	13			
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念を明文化し、HPなどで内部だけでなく、外部にも公表しています。								8	9							17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			コンプライアンスの重要性を社内で共有し、法令遵守を推進しています。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			社内体系を確立し、責任者を明確にしています。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			発注者、施主、近郊の方々の意見をお聞きし、要望に体操しています。															16	17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			毎朝のTMB-KYにおいて、リスクの判定を行い、安全行動を実施しています。																16
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			3R協定やエコアクション21を通して、環境問題に責任をもって取り組んでいます。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BCPの作成、訓練を実施する。										9		11	13	13.1		16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者候補がいます。									8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定